

始良・伊佐地域 感染症情報

2018年第36週報 (9月3日～9月9日)

発行：始良・伊佐地域振興局保健福祉環境部 発行日：平成30年9月12日

今週のトピックス

4月12日から始良保健所管内に「咽頭結膜熱」の流行発生警報の継続中です。

RSウイルス感染症の報告数をみると始良保健所は、前週の6.00から今週は6.43へと増加し、大口保健所は前週の11.00から今週は25.00へと、2週続けて急激に増加しました。県内でも前週(35週報)は4.31と増加し、今後の発生動向には注意が必要です。

注目情報

—首都圏を中心に全国的に風しん患者増加—

8月末から首都圏を中心に風しん患者が増加していますが、国立感染症研究所は第35週1週間で(9月5日現在)14都道府県から75人の報告があり、今後の感染拡大に注意を呼びかけています(<https://www.niid.go.jp/niid//images/idsc/disease/rubella/2018pdf/rube18-35.pdf>)。潜伏期間は2～3週間ですので、夏休みに首都圏へ帰省・旅行等に行かれた方は注意が必要です。風しんは、ワクチン接種により予防可能な感染症です。再度、母子手帳等でワクチン接種歴の確認を行うか、血液検査(抗体検査)により免疫があるか確認しましょう。

☆ 今週の主な感染症の動向

・RSウイルス感染症

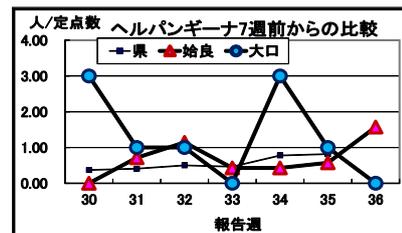
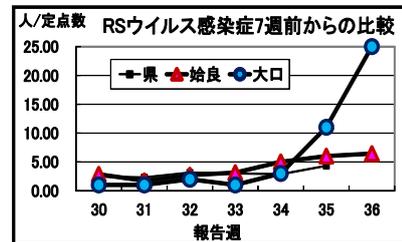
始良保健所管内のRSウイルス感染症の報告数は、45人(定点当たり6.43)で、前週より3人増加しました。

また、大口保健所管内の報告数は25人(定点当たり25.00)で、前週より14人と急激に増加しました。

・ヘルパンギーナ

始良保健所管内のヘルパンギーナの報告数は、11人(定点当たり1.57)で、前週より7人増加しました。

また、大口保健所管内の報告数は0人(定点当たり0.00)で、前週より1人減少しました。



☆ 始良・伊佐地域の指定届出医療機関からの定点当たり報告数

定点報告疾患	警報基準値		注意報基準値	始良保健所管内推移				大口保健所管内推移				県全体
	開始基準値	終息基準値		33週	34週	35週	36週	33週	34週	35週	36週	
インフルエンザ	30.00	10.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.50	2.00	0.05
RSウイルス感染症	—	—	—	3.14	5.00	6.00	6.43	1.00	3.00	11.00	25.00	4.31
咽頭結膜熱	3.00	1.00	—	3.00	2.29	1.71	1.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.81
A群溶血性レンカ球菌咽頭炎	8.00	4.00	—	1.00	0.71	0.57	0.57	1.00	0.00	1.00	0.00	1.48
感染性胃腸炎	20.00	12.00	—	10.14	9.57	8.43	6.71	0.00	0.00	0.00	0.00	6.81
水痘	2.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.19
手足口病	5.00	2.00	—	1.29	0.57	0.57	0.14	0.00	2.00	4.00	0.00	0.94
伝染性紅斑	2.00	1.00	—	0.00	0.00	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.11
突発性発しん	—	—	—	0.14	0.43	1.29	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.74
ヘルパンギーナ	6.00	2.00	—	0.43	0.43	0.57	1.57	0.00	3.00	1.00	0.00	0.81
流行性耳下腺炎	6.00	2.00	3.00	2.29	1.14	1.71	0.71	0.00	0.00	0.00	1.00	0.43
出血性結膜炎	1.00	0.10	—	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	8.00	4.00	—	1.00	0.00	2.00	0.00					1.43

※ 警報・注意報の「—」は対象としないことを意味します。
 ※ 警報域…太文字で赤色の網掛け部分、注意報域…斜体文字で黄色の網掛け部分